

別記様式（第7条関係）

記者会見連絡票

所属部署（ 総合政策課 ）

タイトル
早乙女桜並木再整備募金について
概要（発表内容を簡単に記入してください。） 市が進めている早乙女桜並木再整備において、桜の植栽や景観づくりのため募集している「早乙女桜並木再整備募金」の累計寄付額が令和4年4月30日時点、1000万円を超えました。ご寄附いただいた皆様に対して、改めて心からお礼申し上げます。 一定額以上ご寄附いただいた方には「新早乙女桜並木」に設置する銘板に、寄付者の名前を刻印いたします。 未来へ引き継がれる新たなシンボルロード「新早乙女桜並木」を市民の方、そして市外の方と一緒にしていきたいと思っております。引き続きご協力をお願いいたします。
内容（発表内容のポイントを記入してください。別紙資料でも可能。） 詳細は別紙資料のとおり。
本件に関する報道機関からのお問い合わせ先（所属、担当者名、電話番号） 総合政策課政策推進室、川井、028-681-1113

※ 1案件ごと1枚作成してください。

早乙女桜並木再整備募金 集計

	令和元年度までの累計	令和2年度の受領金額 令和3年3月31日現在	令和3年度の受領金額 令和4年3月31日現在	令和4年度の受領金額 令和4年4月30日現在
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
窓口金額	3,901,000 (182件)	1,510,000 (60件)	2,130,000 (73件)	3,880,000 (23件)
郵送金額	80,000 (8件)	365,000 (8件)	20,000 (2件)	40,000 (4件)
ネット金額	460,000 (24件)	410,000 (23件)	350,000 (27件)	110,000 (3件)
募金箱	28,638	17,815	27,502	
小計	4,469,638	2,302,815	2,527,502	4,030,000
合計	13,329,955			

資料 2

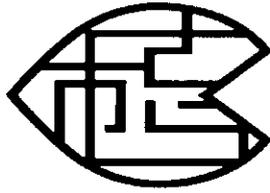
別記様式（第7条関係）

記者会見連絡票

所属部署（ 健康増進課 ）

タイトル
新型コロナワクチン追加接種（4回目接種）について
概要（発表内容を簡単に記入してください。）
新型コロナワクチンの4回目接種間隔の対応や接種スケジュールについて
内容（発表内容のポイントを記入してください。別紙資料でも可能。）
1 対象者 2 使用ワクチン 3 接種の開始時期 4 接種券の発送 5 接種対象者数 6 接種体制 7 予約方法等
詳細は別紙資料参照
本件に関する報道機関からのお問い合わせ先（所属、担当者名、電話番号）
担当者名：健康増進課感染症対策室長 長島 電 話：028-678-4008 F A X：028-682-5156 メ ー ル：u-hoken@city.tochigi-sakura.lg.jp

※ 1案件ごと1枚作成してください。



さくら市
SAKURA CITY

R4. 5. 20定例記者会見 健康増進課資料

【照会先】 さくら市健康増進課
感染症対策室長 長島
(電話番号028-678-4008)

報道関係者 各位

新型コロナウイルスワクチン追加接種（4回目接種）について

1 対象者

原則として、接種日にさくら市に住民登録（住民票）があり、新型コロナウイルスワクチンの3回目接種を終了した日から5か月以上経過した方で、次のいずれかに該当する方が対象となる。

- (1) 60歳以上の方(本市において一般高齢者が対象となるのは6月19日以降)
- (2) 18歳以上60歳未満で基礎疾患がある方その他重症化リスクが高いと医師が認める方（以下「基礎疾患がある方等」という。）

2 使用ワクチン

ファイザー社製ワクチン及びモデルナ社製ワクチン

3 接種の開始時期

6月19日、ただし医療従事者で対象になる方のため、6月8日より予約枠を用意（開始時期は医療機関により異なります。）

4 接種券の発送

5月下旬から、以下により発送する。

- (1) 60歳以上の方については、3回目接種から5か月经過した方へ随時接種券を発送
 - (2) 18歳以上60歳未満で基礎疾患を有する方等については、接種券の発送は申請制となる。手続きの方法は以下のとおり
 - ① 5月末に、3回目接種をした18歳以上60歳未満の方へ、市から4回目接種に関する案内を送付
 - ② 基礎疾患等に該当し、接種を希望する方は、申告書を返送する。
 - ③ 3回目の接種から5か月经過後、市から接種券を発送
- ※ 基礎疾患に該当する、もしくは重症化リスクが高いか不明な方は、申請の前に、かかりつけ医に相談する。

5 接種対象者数

3回目 接種時期	対象者と なる時期				備考
		60歳以上	18~60歳未満 基礎疾患等	対象者数	
~R3.12	R4.5	48	13	61	
R4.1	R4.6	1,414	45	1,459	
R4.2	R4.7	7,011	54	7,065	
R4.3	R4.8	3,182	206	3,388	
R4.4	R4.9	904	217	1,121	
合計		12,559	535	13,094	

※ 60歳以上は令和4年9月30日時点で計算

※ 基礎疾患を有する方等は、対象年代で3回目接種した人数の4.9%（新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施に関する手引き、より）で計算

6 接種体制

- ① 追加接種（4回目接種）については、3回目接種と同様に市内各医療機関において個別接種を実施できるよう調整中
- ② 喜連川地区の医療機関が少ないため、喜連川各地区から黒須病院までの交通手段を検討中
- ③ 令和4年6月上旬より、ワクチンを効率的に接種するため、1・2・3回目接種を黒須病院に集約して実施できるよう調整中

7 予約方法等

1・2・3回目接種と同様にインターネットまたはコールセンター（028-666-7755）への電話による予約

※ 聴覚や言語の障害等で相談が困難な方は、FAXまたはメールで対応

別記様式（第7条関係）

記者会見連絡票

所属部署（ 農政課 ）

タイトル															
第2回さくら市主食用米作付農家支援助成金について															
概要（発表内容を簡単に記入してください。）															
<p>新型コロナウイルス感染拡大の長期化に伴い、主食用米のうち特に業務用米の需要が減少したことにより在庫量が増加し、大幅な米価下落が生じたことから、市内の主食用米生産者の経営の安定を図るべく令和3年度に助成金の交付をおこなったが、交付対象外となった主食用米生産者も米価下落の多大なる影響をうけていることから、対象範囲を拡大し主食用米生産者の更なる経営の安定を図るべく第2回さくら市主食用米作付農家支援助成金について報告する。</p> <p>1. 対象者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 市内に住所を有する者 2 主食用米の作付面積が30a以上の者 3 作付した主食用米を集出荷業者等へ販売している者 4 令和3年産の主食用米の作付参考値を達成している者 5 令和4年度も作付参考値を遵守し、今後も継続して主食用米の作付け、販売をおこなう者 6 令和2年度中の所得について農業の税申告をしている者 7 市税を完納している者 <p>1から7のいずれにも該当すると思われる農業者247名に交付予定 ただし、令和3年度に主食用米作付農家支援助成金の交付を受けた者を除く</p> <p>2. 交付額</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">主食用米作付面積</td> <td style="width: 40%;">2ha未満</td> <td style="width: 30%; text-align: right;">30,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2ha以上5ha未満</td> <td style="text-align: right;">50,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>5ha以上10ha未満</td> <td style="text-align: right;">100,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>10ha以上</td> <td style="text-align: right;">200,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>法人加算1団体につき</td> <td style="text-align: right;">100,000円</td> </tr> </table>	主食用米作付面積	2ha未満	30,000円		2ha以上5ha未満	50,000円		5ha以上10ha未満	100,000円		10ha以上	200,000円		法人加算1団体につき	100,000円
主食用米作付面積	2ha未満	30,000円													
	2ha以上5ha未満	50,000円													
	5ha以上10ha未満	100,000円													
	10ha以上	200,000円													
	法人加算1団体につき	100,000円													
内容（発表内容のポイントを記入してください。別紙資料でも可能。）															
別紙資料のとおり															
本件に関する報道機関からのお問い合わせ先（所属、担当者名、電話番号）															
<p style="text-align: center;">さくら市役所 農政課 農政係 副主幹兼農政係長 小堀 将孝 電話 028-681-1117</p>															

別記様式（第7条関係）

記者会見連絡票

所属部署（ 農政課 ）

タイトル
今後の米政策について
概要（発表内容を簡単に記入してください。）
令和5年度に向けた米価下落・米消費拡大対策として、下記の事業の推進 1. 現行の市単独補助金の統合、見直し、拡充による作付け転換の推進 2. 転作作物の作付け増加に向けた支援策の実施 3. 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した、原油価格や物価の高等に対する事業の実施 4. 認定農業者の優遇措置を周知する啓蒙活動の実施 5. 学校給食における地産地消の推進
内容（発表内容のポイントを記入してください。別紙資料でも可能。）
別紙資料のとおり
本件に関する報道機関からのお問い合わせ先（所属、担当者名、電話番号）
さくら市役所 農政課 農政係 副主幹兼農政係長 小堀 将孝 電話 028-681-1117

※ 1案件ごと1枚作成してください。

今後の米政策について

市では、米価下落対策、米消費拡大対策として補助等を行ってきましたが、更なる支援として、以下のとおり事業を実施していきたいと考えています。なお、事業の詳細につきましては今後調整し、内容が具体的になった時点で改めてご報告させていただきます。

1. 現行の市単独補助事業の統合、見直し、拡充を行い、作付転換を推進する。

- ① 補助金額、補助率の見直し
- ② 補助対象の見直し（スマート農業の導入に向けた支援策（稲作を含む）の検討）
- ③ 新たに麦、大豆等を対象に追加
- ④ 産地化可能な品目・品種の検討

現行の市単独補助事業（令和4年度予算額：4事業合計18,530,000円）

事業名	事業内容	補助額
園芸作物推進事業	園芸作物の導入に必要な・施設を設置する場合に整備費の一部を補助する。	対象者、対象施設により経費の30%から70%（上限100万円から200万円）を補助する。
新規作物導入種子・種苗代補給事業	園芸作物を新規に導入する際の種子・種苗の購入費用の一部を補助する。	購入経費の2分の1又は20万円のいずれか低い方の額
農業用機械等導入支援事業	新規就農者、園芸作物を新たに栽培又は拡大する認定農業者、麦・大豆・そば・飼料作物の作付面積を拡大しようとする団体に対し、機械購入経費の一部を補助する。	経費の2分の1又は50万円のいずれか低い方の額
露地野菜推進支援事業	露地野菜の栽培に必要な先進地視察研修及び農業用機械等の購入に要する経費に対して補助する。	視察研修:対象経費又は30万円のいずれか低い方の額 機械購入:経費の2分の1又は100万円のいずれか低い方の額

2. 転作作物の作付け増加に向けた支援の実施

米価下落、主食用米の消費減少対策として、主食用米からの作付転換を推進するための補助金を交付する事業の実施

3. 原油価格、物価高騰による農業者の負担軽減に関する事業の実施

4. 米の買取価格の下落等に対応するため、認定農業者の優遇措置について周知し、認定農業者への手続きを進めていただくよう啓発活動を行う。

5. 新たな給食センターの設置に伴い、学校給食における地元農産物の使用量の増加による地産地消の推進を図る。

資料 5

別記様式（第7条関係）

記者会見連絡票

所属部署（ スポーツ振興課 ）

タイトル
第77回国民体育大会 第22回全国障害者スポーツ大会 「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」に伴う機運向上イベントについて
概要（発表内容を簡単に記入してください。）
6月14日 AM10:00～ あおぞら保育園において、いちご一会ダンスキャラバン隊を招き、園児たちと一緒に「いちご一会ダンス」を踊ります。 昨年度は、たいよう保育園、わくわく保育園で行っています。
内容（発表内容のポイントを記入してください。別紙資料でも可能。）
本件に関する報道機関からのお問い合わせ先（所属、担当者名、電話番号）
さくら市スポーツ振興課 国体推進室 担当：山森 028-681-3000

※ 1案件ごと1枚作成してください。

資料 6

別記様式（第7条関係）

記者会見連絡票

所属部署（ スポーツ振興課 ）

タイトル
総合公園再整備完成について
概要（発表内容を簡単に記入してください。）
令和元年度から令和3年度までの3か年計画で整備を行った総合公園再整備が完了し、令和元年度にはバスケットボールコート、令和3年度にはフットサル兼用テニスコート、壁打ち施設、ボルダリング施設が完成した。
内容（発表内容のポイントを記入してください。別紙資料でも可能。）
別紙 さくら市総合公園再整備各施設の紹介
本件に関する報道機関からのお問い合わせ先（所属、担当者名、電話番号）
さくら市スポーツ振興課 施設係 担当：宇田 028-682-8888

※ 1案件ごと1枚作成してください。

さくら市総合公園再整備各施設の紹介 ～完成までの経過～

1 整備内容

整備面積：7,978㎡

①バスケットボールコート（32m×20m）：640㎡ 1面

②フットサル兼用テニスコート（44m×42m）：1,848㎡

フットサル1面 テニス2面

③壁打ち（さくら・スポーツ・ウォール）：2,458㎡

テニス：1基（両面） 野球：2基 サッカー：3基

ボルダリング：3基（サッカー壁裏面）

④駐車場：3,032㎡ 85台

2 建設までの経過

令和元年度5月 総合公園再整備設計業務委託 宇都宮測量（株）

5月 樹木伐採業務委託（有）櫻井農園

バスケットボールコート整備工事

令和2年度5月 多目的広場整備工事（路盤まで）

令和3年度5月 多目的広場整備工事（人工芝舗装・壁打ち施設）

5月 駐車場整備工事

3 工 事

〔さくら市総合公園バスケットボールコート整備工事〕

工期：令和元年12月～令和2年3月

施工：岡村建設（株）

〔さくら市総合公園多目的広場整備工事（路盤まで）〕

工期：令和2年5月～令和3年3月

施工：（株）荒牧組

〔さくら市総合公園多目的広場整備工事（人工芝舗装・壁打ち施設）〕

工期：令和3年5月～令和4年3月

施工：岡村建設（株）

〔さくら市総合公園駐車場整備工事〕

工期：令和3年5月～令和4年3月

施工：佐藤建設工業（株）

4 事業費

総事業費 約 2億7,467万円

<内訳> ・ 設計・伐採業務委託費 11,037,600円
・ 整備工事費： 263,626,000円

《助成金》 ・ toto助成金： 60,773,000円

資料 7

別記様式（第7条関係）

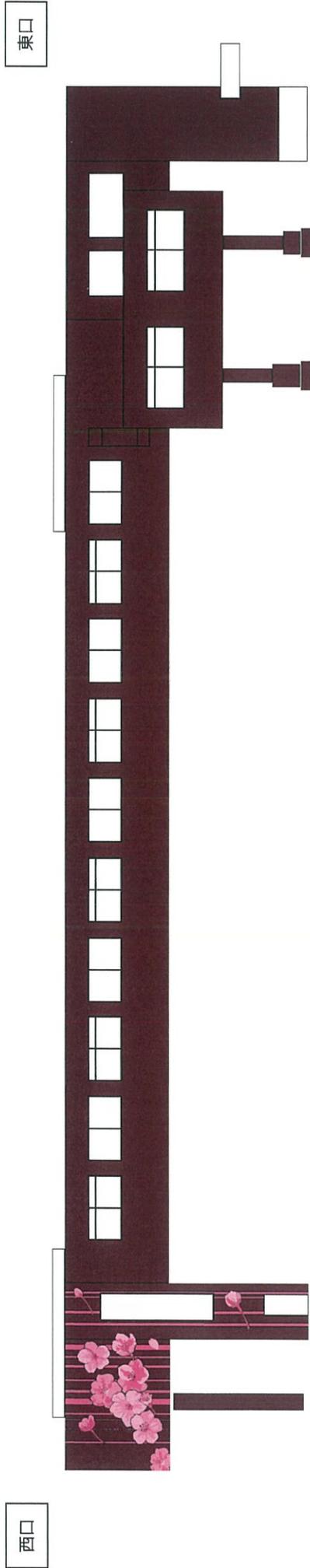
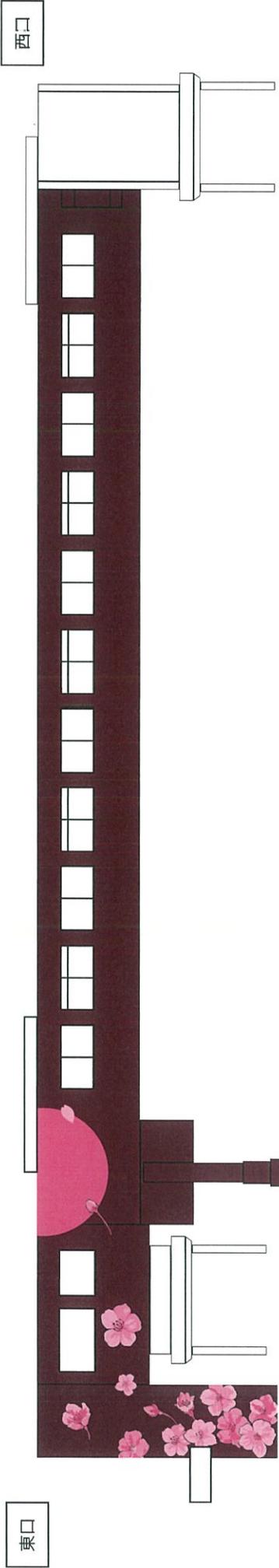
記者会見連絡票

所属部署（建設部建設課）

タイトル
氏家駅東西線のデザインについて
概要（発表内容を簡単に記入してください。）
<p>氏家駅の南側に設置されている氏家駅東西線は、橋梁補修工事により、この度外壁塗装が完了いたしました。</p> <p>今後は、通路内部の修繕工事にあわせて、ダークブラウンの外壁に桜をモチーフにしたイラストを施す予定でございます。</p> <p>イラストの施工にあたりましては、文星芸術大学にデザイン制作を委託し、それらを基に検討を重ねてまいりました。</p> <p>この度、そのデザインが決定いたしましたので、ご報告するものでございます。。</p>
内容（発表内容のポイントを記入してください。別紙資料でも可能。）
<p>別添図のとおりご参照いただき、デザインコンセプトもあわせてご参照願います。</p>
本件に関する報道機関からのお問い合わせ先（所属、担当者名、電話番号）
<p>さくら市建設部建設課 保全係長 渡邊和之（ワタナベ カズユキ） 電話番号（建設課）：028-681-1119</p>

※ 1案件ごと1枚作成してください。

氏家駅東西線のデザインについて



デザインコンセプト

つな
「繋がり」

さくら市の主要な駅である氏家駅の東口と西口の距離を繋ぐこと、人と人を繋ぐこと、長い歴史や伝統から時間を繋ぐことを意味します。

ストライプのようにになっている部分は、電車から見える木々が見えすぎる様子や、時間の流れを表しており、丸い部分は歴史や伝統を、桜の花や花びらを人や時間にたとえて、ともに時間を歩みながら繋がっていくことを表現しています。

記者会見連絡票

所属部署（ 総合政策課 ）

タイトル
5・6月のさくら市イベント等情報
概要（発表内容を簡単に記入してください。）
今回は5月27日から29日、6月3日から5日と6日間行われる、さくら市盆栽会作品展をお知らせします。
内容（発表内容のポイントを記入してください。別紙資料でも可能。）
① さくら市盆栽会作品展 期日：5月27日から29日、6月3日から5日 場所：瀧澤家住宅 奥深い盆栽を飾り方や見方などをわかりやすく紹介し、身近にその魅力を感じることを目的としています。 (担当 さくら市ミュージアム) 注1) より詳細な内容や写真などの提供を求める場合は、担当課にご連絡ください。 注2) ここに掲載の事業につきましては、当日取材可能事業です
本件に関する報道機関からのお問い合わせ先（所属、担当者名、電話番号）
総合政策部 総合政策課 秘書広報戦略室 室長 池田 電話 028-681-1113

※ 1案件ごと1枚作成してください。

栃木県指定文化財瀧澤家住宅展覧会

さくら市盆栽会 作品展

令和4年

5月27日金 28日土 29日日

6月 3日金 4日土 5日日

午前9時～午後3時30分(入館は午後3時まで)

会期中の休館日はありません

場所 | 栃木県指定文化財 瀧澤家住宅 鐵竹堂
 観覧料 | 一般100円 ※学生以下無料
 駐車場 | 瀧澤家住宅向側
 (普通自動車12台軽自動車2台)

盆 盆 栽

6日間の BONSAI Exhibition

会期中のイベント

講師 | 日本盆栽協会
盆栽インストラクター
高橋英雄氏

開催日時 | 5/28日、5/29日、
6/4日、6/5日
13時～30分程度

参加費 | 100円(観覧料のみ)
お申し込み不要

高橋英雄 作

開催日時 | 5月28日(土) 13:00～
終了後「盆栽のお話」を
開催します

栃木県指定文化財 瀧澤家住宅 TEL 028-682-2176 〒329-1312 栃木県さくら市櫻野1365

主催 さくら市ミュージアム-荒井寛方記念館-、さくら市盆栽会

盆栽

6日間の BONSAI Exhibition

さくら市盆栽会作品展



緑に囲まれた私たちの生活の中で、盆栽は身近にあるように、何となく敷居の高い、しかも年齢を重ねないとできないような、イメージがあるかもしれません。

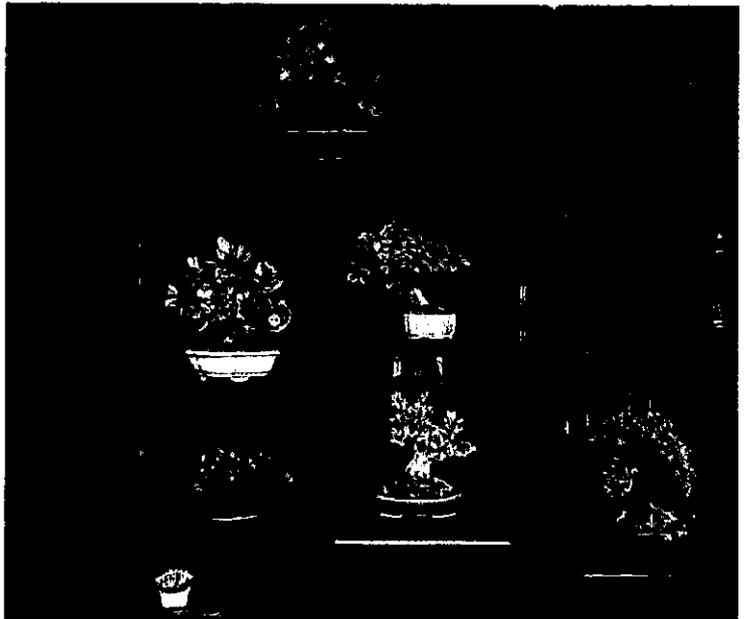
このたびの展覧会は、奥の深い盆栽を飾り方や、見方などわかりやすく紹介し、身近にその魅力を感じていただくことを目的の一つとしています。

長年、日本の伝統文化として盆栽は親しまれてきました。その歴史は平安時代にさかのぼるといわれ、武士のたしなみや風流人の趣味など、植物の造形の美を追求し、剪定を施し、鉢上で大自然の美を表現してきたといつてよいでしょう。単なる美しさを求めるのではなく、そこに宿る精神性の高さや気韻など、奥の深い盆栽は、「BONSAI」として、今や海外でも人気を博しています。

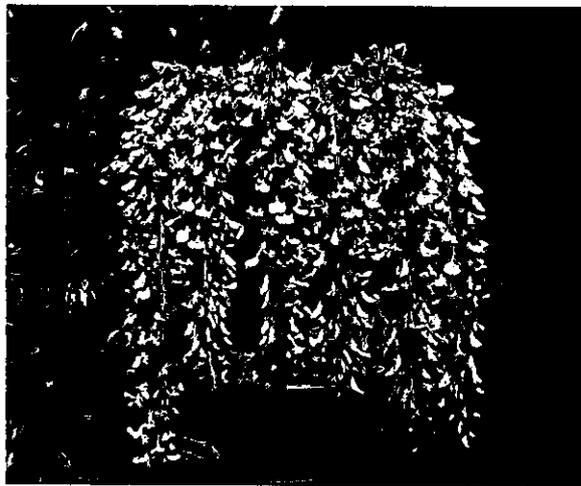
さくら市でも「さくら市盆栽会」のメンバーがそれぞれの盆栽の世界を構築し、造形の美の追求をしています。植物との対話の中で生まれる盆栽の美を特別な6日間でお楽しみいただきたいと思います。



高橋英雄 作



岡宮一二 作



岡宮一二 作

ごあいさつ

さくら市盆栽会 会長 岡宮一二

この度、旧瀧澤邸公開事業の一環として、盆栽を展示する機会を与您に提供できありがとうございます。

作品は、会員一人ひとりが丹精込めて育てたものです。心行くまでご覧になって下さい。

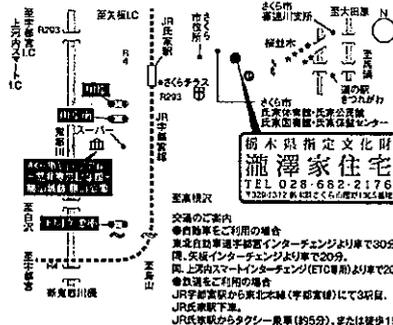
今回の展示については、通常の展示の仕方と異なり、畳上であり、さらに床の間飾りが含まれ、奥深い盆栽飾りに苦慮しました。作品をご覧になって少しでも盆栽というものに興味を抱いていただければ幸いです。

注意事項

※新型コロナウイルス感染症の影響により、予告なく会期の変更等になる場合があります。ご来館の際は、お電話、当館のホームページ等でご確認くださいませようお願いします。

瀧澤家住宅 さくら市ミュージアム・荒井寛方記念館

瀧澤家住宅は、さくら市の権野地区の旧奥州街道沿いにあります。通りに面して伝統的な塙を連らし、堂々たる長屋門を構えるなど、旧家の面影を留め、明治期の濃厚な茶園気を良く残しています。平成10(1998)年に、建築遺産として歴史的な価値が認められ雑竹堂(てっくどう)、藏座敷(くらざしき)、長屋門(ながやもん)の3棟が「瀧澤家住宅」として県指定文化財になりました。これらの建物は明治時代から大正時代にかけて活躍した実業家「瀧澤善平治」によって建てられました。邸宅は明治25(1892)年陸軍大演習の際には、明治天皇の休息所となるなど旧氏家地区の歴史を語るシンボルになっています。



お問い合わせ

さくら市ミュージアム
-荒井寛方記念館- へ

栃木県さくら市東家1297

TEL 028-682-7123